

助詞の使い分け

助詞を使い分けることによって、より正確でわかりやすい文を作ることができます。

1. 主格を示す「は・が」

- ①先生（ ）私（ ）書いた作文をほめてくれた。
 ②私（ ）住んでいた家（ ）幽霊（ ）よく出る家です。
 ③雨（ ）降ってきた。明日の遠足（ ）中止だろう。
 ④煙草屋の隣に本屋（ ）ある。本屋（ ）煙草屋の向かいではない。
 ⑤誰（ ）犯人か。犯人（ ）誰か。
 ⑥むかしむかし、ある所におじいさんとおばあさん（ ）住んでいました。おじいさん（ ）山へ柴刈りに、おばあさん（ ）川へ洗濯に行きました。すると川上から大きな桃（ ）流れて来ました。

は	が
*	*
*	*
*	*

2. 場所を示す「で・に・を・から・まで・へ」

- ①教室（ ）勉強したので教科書を教室（ ）忘れた。
 ②図書館（ ）利用して、図書館（ ）宿題をした。
 ③階段（ ）昇って5階（ ）着いた。
 ④裏門（ ）逃げて坂道（ ）かけおりた。
 ⑤京都（ ）札幌（ ）1600キロを、北（ ）バイクを飛ばし、やっと函館（ ）着いた。この旅は札幌（ ）終わりだ。

3. 相手を示す「を・に・へ・と」

- ①犬は動物（ ）愛する人（ ）なつく。
 ②聖子はひろみ（ ）プロポーズし、ひろみ（ ）一方的に婚約を通告しておきながら、政輝（ ）結婚した。